



静岡 STEAM FUTURE SCHOOL

2025, 2, 12 No.11

国際 STEAM 探究活動発表交流会：に静岡代表で辻知里さん(中1)・築地佳音さん(小6)が英語で素晴らしい発表をしました。



左：築地さん、右：辻さんの発表の様子

1月26日(日)に、日本・アメリカ・タイ・インドネシア・台湾の5カ国の STEAM 探究活動を推進している国の受講生が、自分の探究している内容について英語で発表しました。静岡 STEAM フューチャースクールからは、中1の辻さんが「両利きになることを支援する装置の研究」を、小6の築地さんが「クマムシの研究」を発表し、辻さんが最優秀に選ばれました。辻さんの左利きを右利きにするためのトレーニングキットは、何回も試行錯誤を繰り返し、自作してデータをとった探究です。

自分の解決しようとした疑問や問いに対してアイデアを駆使して器具を自分で作成し、データを取り、試行錯誤してまた改良する。そして80%を超えて、左手でも右手でやったような状況を作れるまでに器具を改良しました。辻さんの探究活動のように問題を解決する手法は、STEAM 的で、とても高く評価され No.1 となりました。

築地さんは、帰国子女で英語はとても堪能でクマムシの探究活動を発表しました。同じ世代の人たちが、それぞれ興味ある疑問や問題を、実験や観察・調査などを通してデータを取り、グラフ化して考察し、新しい問題点を見つけるなどの探究の進め方は、どこの国でも「科学の方法」をベースに探究していて、とても勉強になりました。

これからの世の中は、国際化がどんどん進んでいくことを予感しましたね。ZOOM で9人の受講生が参加してくれました。



アメリカ STEAM 海外派遣 2024：に増田結桜さん(中2)・佐藤僚星君(中1)！が派遣されました！

昨年12月15日にグランシップで開催された「静岡 STEAM フューチャースクール探究活動発表会」で、素晴らしい探究活動論文を提出し、プレゼンも素晴らしかった受講生に贈られる「アメリカ派遣特別賞」に選ばれた中2の増田結桜さんと中1の佐藤僚星君が、2月1日～8日まで、アメリカのミネソタ州の STEAM 教育センターを中心に派遣され、現地の大学生や中学生との交流をして来ました。



増田さんの宇宙食の探究は、小学5年生からの継続研究、佐藤君のトカゲの探究も小学2年生の頃からの継続研究です。毎年県の科学論文コンクールで賞を受賞している作品で、全国のコンクールにもチャレンジして賞に輝いています。この2人の探究は、まだまだこれからも続きます。

宮澤賢治の銀河鉄道のように、何両にも疑問列車が接続されて、未来に向かって走り続けていくのでしょうか……素敵ですね。この2人の探究は、まだまだこれからも続いていくのでしょうか。

2人の研修旅行の報告は、6月末に予定されている「2025静岡 STEAM フューチャースクール全体説明会」で報告してもらう予定です。(文責：増田)